

**飼料用アスタキサンチンの欧州での生産を開始
～色素添加物として米国食品医薬品局(FDA)の認可を取得～**

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2010年度中に欧州において、養殖魚の色調を改善する色素添加物「飼料用アスタキサンチン(商品名「パナファード」)」の生産を開始することを決定しましたので、お知らせいたします。

アスタキサンチンは、エビなど甲殻類の殻や、それらを餌とするマダイ、サケなどに含まれる赤色色素で、サケなどの養殖魚の色調を改善する飼料や健康食品に使用されています。

当社の開発したアスタキサンチンは、当社独自の微生物発酵法により製造されたものであり、天然品としては製造コストが低いことが特徴で、これまでは、日本で委託生産した製品を、欧州やチリで飼料用として販売しておりました。

このたび、米国食品医薬品局(FDA)から色素添加物としての認可を得ることができましたので、サケの主要な消費国である米国へ輸出される養殖魚の飼料向けにも使用することが可能となり、販売拡大が見込まれます。そこで、2010年度中に、主要な養殖市場である欧州において、従来より大規模な委託生産を開始することを決定いたしました。生産開始後は、2015年度で20億円の売上げを目指します。



飼料用アスタキサンチン(商品名:パナファード)



当社のアスタキサンチンを配合した飼料を与え、色揚げしたサケ

以上